

## 家電を知り尽くす専門家達が本気で推したい逸品を選出 「All About 家電アワード 2020」発表！ ～ おうち時間の増加に伴い「スティック掃除機」の当たり年に～

総合情報サイト「All About」を運営する株式会社オールアバウト（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：江幡 哲也）は、家電を知り尽くす5名のAll Aboutガイドが、2020年度発売の家電を対象に、自らも本気で購入したいと思える優れた逸品を表彰する「All About 家電アワード 2020（以下、家電アワード）」の結果を発表いたします。

■ All About 家電アワード特集ページ：[https://allabout.co.jp/feature/sp\\_kadenaward2020/](https://allabout.co.jp/feature/sp_kadenaward2020/)

今回の家電アワードでは、キッチン・住宅・掃除・洗濯/衣類ケアなどの白物家電を主な対象領域として、各家電ガイドが本気でオススメしたいと思える商品を1位から5位まで順位付けの上、表彰します。また、今年度はコロナ禍において、発売年次を問わず、使った・買った・役立った家電として「ステイホーム部門」も新設し、生活領域のAll Aboutガイドも参加の上、受賞商品を選出いたしました。当アワードを通じて、信頼性の高い専門家のお墨付きとともに、それぞれのライフスタイルに沿った最新の家電情報を提供することで、生活者に満足感を与える購買体験のサポートを目指します。



### ■各ガイドが選出した1位受賞商品と評価コメント

「滝田 勝紀」選	「安蔵 靖志」選	「コヤマ タカヒロ」選
<p><b>ブルーエア ブルーエア プロテクト</b></p> 	<p><b>ポップイン popIn Aladdin 2</b></p> 	<p><b>パナソニック パワーコードレス MC-SBU840K</b></p> 
<p>空気清浄機はリビングなどに24時間置かれて見られるものだから、やっぱりデザインが美しいことが必須である。ミニマルな北欧デザインに未来っぽさが融合した美しいスチール筐体は、設置面積はA4用紙と同サイズで上部に向かってすぼまる台形タワー型に。スパイラルエアで広範囲に柔らかく風を送り届け、力強くスピーディーに汚染された空気をきれいにする。0.03μmのウイルスレベルの超微粒子まで除去でき、インフルエンザウイルス、新型コロナウイルスなども物理的にキャッチ可能。フィルターに付着した菌やウイルスはイオンチャージャーや微風乾燥により不活化されるのも安心。</p>	<p>LEDシーリングライトにプロジェクターを内蔵することで、誰でも手軽にプロジェクターの大画面を楽しめるというのが、これまでにはなかった大きな魅力です。ステイホーム時間が伸びたことで、動画サービスを存分に楽しめる魅力が、かなり多くの人に刺さるのではないかと思います。リビングルームだけでなく、比較的狭いベッドルームでも大画面で楽しめます。白い壁があればスクリーンを設置しなくてもいいので、映画を大画面で見たいけど設置や配線が大変で二の足を踏んでいた人にはかなりおすすめモデル。ステイホーム時間が充実しますよ。</p>	<p>新しい形状のブラシを搭載したスティック型掃除機です。ヘッド内には円錐状ブラシを向かい合わせに2本採用。真ん中が空いているので、これまでの掃除機とは異なり、長いペットの毛や、髪の毛などを吸ってもブラシに巻きつくことがなく、全て吸い込むことができるのが便利です。スティック型掃除機としてのパワーも強く、通常のゴミもしっかり吸引。近年のトレンドの軽量モデルと比べるとやや本体は重いですが、ブラシが回転するパワーが進むので、実際には軽快に使えます。</p>

「田中 真紀子」選	「伊森 ちづる」選
<p style="text-align: center;"><b>アクア 全自動洗濯機『Prette シリーズ』 AQW-GVX140J</b></p> 	<p style="text-align: center;"><b>ケルヒャー スチームクリーナー SC 3 EasyFix</b></p> 
<p>業界初、超音波洗浄機を搭載した全自動洗濯機。洗濯物は洗濯機で自動で洗えるとはいえ、エリソデ汚れや食べこぼしなどの手洗いはどうしても避けて通れませんでした。超音波洗浄機はその手間をラクにしてくれただけでなく、布を傷めず、手洗いよりずっとキレイに洗えるようになるなど画期的。あっという間にキレイになる爽快感がクセになり、いまや毎日のように使っています。最近ではコロナ禍で一度着た服は洗う習慣になったこともあり、3 人家族のわが家でも、洗濯容量 14 kg という大容量が役立っています。</p>	<p>約 100℃の高温スチームで、床、ソファ、ドアノブなど気になるところをキレイにできる。水を継ぎ足すと中断せずに掃除を続けられるほかヒートアップ時間が 30 秒と短時間で使え、ストレスフリー。付属のクロスはベロクロで着脱が簡単。いろいろな場所の掃除に活躍する 1 台だと思います。</p>

## ■審査員ガイドの 2020 年家電業界注目トピックス

 <p>「家電」ガイド 滝田 勝紀氏</p>	<p>とにかく今年はスティック掃除機の当たり年。軽量でありながらパワフルな吸引力を併せ持つ良品が数多く発売され、ダイソン一強だったスティック市場から選べる市場へと変化した一年だった。家に長時間いることを強いられることが多かった分、部屋の片付けをいつも以上に丁寧にする人が多く、そんな人たちの強い相棒となったことは間違いない。個人的にはシャークの EVOPOWER がオススメ。手軽に掃除ができることはもちろん、メインブラシの性能も高く、何より部屋に置いておいても美しい見た目は他の追随を許さない。古い掃除機で掃除するのが億劫な人には、最新モデルをぜひ手にとってほしい。</p>
 <p>「デジタル・家電」ガイド 安蔵 靖志氏</p>	<p>コロナ禍によって、これまでのライフスタイルから“ニューノーマル時代”のライフスタイルへと、大きな変化が求められるようになりました。家事を効率的に行えて、おいしく健康的な食事作りをサポートしてくれる……生活家電にはそういった魅力があり、家電メーカー各社もそれを実現する機能を磨き続けてきました。しかしニューノーマル時代に求められる家電は時短や時産だけでなく、ステイホーム時間を楽しませてくれる、ワクワクさせてくれるものや、安心・安全をよりサポートしてくれる製品や機能がさらに求められていくように感じています。</p>
 <p>「デジタル・白物家電」ガイド コヤマ タカヒロ氏</p>	<p>2020 年の家電業界は新型コロナウイルスの広がりにより大きな変化がありました。上半期は新製品の発表が遅れましたが、下半期は通常通りいろんな商品が出てきました。一年を通して一番変化があったのはスティック掃除機です。私が 1 位に挙げたパナソニックに加えて、バルミューダの掃除機や、ダイソンの軽量掃除機など注目のモデルが数多く登場しました。また巣ごもり生活に対応するうえ、調理家電にも注目が集まりました。冷蔵庫や電子レンジ、ほったらかし調理ができる電気鍋などが人気を集め、売れています。来年以降も自宅内での生活を快適にするための家電が人気を集めそうです</p>

 <p>「美容家電・育児用品」ガイド 田中 真紀子氏</p>	<p>2020年はコロナに明け暮れた一年になってしまいました。在宅時間が長くなったことで、足元の暮らしを見直した人も多かったのではないのでしょうか。家事が増えたことからやむなく家電を買い足した人もいる一方で、時間ができたから普段以上に手の込んだ料理を作ってみようとか、いつもより丁寧に掃除してみようなど、前向きな動機で家電を購入した人も多かったと思います。私自身、「家事を楽しむことは暮らしを楽しむこと」という意識で、今後も家電選びをサポートしていきたいと思っています。</p>
 <p>「家電マーケティング」ガイド 伊森 ちづる氏</p>	<p>清潔意識の高まりと、在宅勤務など自宅で過ごす時間が増えたことにより、今まで忙しくて見過ごしていた汚れや不便な点に気がつく人が増えた。そうした世の中の動きを受けて、家の中をより清潔に快適に過ごす家電が注目された一年だったと思う。</p>

## ■「ステイホーム部門」の受賞商品の一例



**Dyson**  
Dyson Micro 1.5 kg  
(審査員：「掃除」ガイド 藤原千秋)



**Russell Hobbs**  
T Kettle  
(審査員：「簡単スピード料理」ガイド 野口 英世)

## ■2020年度「All About 家電アワード」実施概要

### 【対象商品】

2020年1月1日～2020年12月31日の期間に発売された白物家電

※ステイホーム部門は発売年次不問

### 【審査方法】

家電に精通した5名のAll Aboutガイドが、今年発売された商品の中から、各人が本気でオススメしたいと認める商品を5点選出し、1位から5位まで順位付けいたします。さらに、今年度は、コロナ禍において、発売年次を問わず、使った・買った・役立った家電として「ステイホーム部門」も新設し、生活領域のAll Aboutガイドも参加の上、受賞商品を選出。

### 【審査員】※順不同

「家電」ガイド 滝田 勝紀／「デジタル・家電」ガイド 安蔵 靖志／「デジタル・白物家電」ガイド コヤマ タカヒロ／「美容家電・育児用品」ガイド 田中 真紀子／「家電マーケティング」ガイド 伊森 ちづる  
(以下、「ステイホーム部門」の審査員ガイド)

「掃除」ガイド 藤原 千秋／「子育て」ガイド 河崎 環／「簡単スピード料理」ガイド 野口 英世／「ボディケア」ガイド 和田 清香／「男の子育て」ガイド 堀込 泰三／「オーディオ・ビジュアル」ガイド 鴻池 賢三

■ 「All About」について <http://allabout.co.jp/>

約 1,300 のテーマごとに、専門の知識や経験を持った人＝「ガイド」が、その分野に関する信頼性の高い情報を提供する総合情報サイトを運営。2001 年 2 月 15 日のサイトオープン以来、順調にユーザ数を伸ばし、月間総利用者数は約 2,600 万人（2020 年 5 月実績、PC・スマートフォン・モバイル含む）となっています。「あなたの明日が動きだす」というサイトスローガンのもと、システムだけでは到達しない満足度へ“人”がナビゲートするサービスです。

**本件に関する報道機関からのお問い合わせ先：**

株式会社オールアバウト 広報担当：柏原

TEL：03-6362-1309 E-mail：[pr@staff.allabout.co.jp](mailto:pr@staff.allabout.co.jp)